

部活動の実施における遵守事項（令和4年7月22日から）

（活動全般）

- 学校関係者に陽性者や濃厚接触者等が確認され、感染の拡大が危惧される場合は、直ちに活動を中止するとともに、再開については学校医等に相談した上で慎重に判断すること。
- 練習前に、検温及び聞き取り等による健康観察を徹底し、少しでも体調に異変がある場合は、練習に参加させないこと。
- 顧問等の立ち会いの下、活動を行うこと。
- 練習前後の更衣やミーティングを行う場合は、三密を避けること。
- 練習会場の広さに対する部員数から、密を回避できないと判断される場合は、学年ごとや男女別に分けるなど、活動形態・方法を工夫すること。  
特に、屋内で活動する場合は、各種目の特性に応じて、近距離で大声を出す活動などの感染リスクの高い活動は、可能な限り避けること。
- 練習会場はもちろんのこと、更衣室等についても常時又は定期的な換気を行い、完全に外気と入れ替わるようにすること。
- 練習終了後は、速やかに帰宅させること。

（食事）

- 食事をとる際は、学校単位を原則とし、間隔を十分に確保するなど感染防止対策を徹底すること。
- 練習後は校内外を問わず、集団で飲食をしないよう指導をすること。

（移動、宿泊）

- バスや自家用車等で移動する場合は、マスク着用はもちろん、座席に余裕をもって、人数を割り当てるとともに、常時、又は定期的な換気を行うこと。
- やむを得ず宿泊する場合は、感染防止対策を徹底しているホテルや旅館を選定すること。 自校及び他校のセミナーハウスや合宿所は使用しないこと。  
また、その際、個室での宿泊が望ましいが、2人以上の相部屋とせざるを得ない場合は、部屋の広さに対する人数に、十分配慮すること。

（他校等との交流）

- 交流後の健康観察は特に徹底し、参加者に異変があった場合は、関係校間で速やかに情報共有するなど、部内、校内、他校への感染拡大防止に細心の注意を払うこと。

（県外校等との交流）

- 相手校が所在する都道府県等（設置者）のコロナ禍における部活動の方針（制限等）を踏まえた上で計画すること。なお、対戦校が私立学校の場合は、互いの校長が交流内容や感染防止対策等について、事前に確認した上で計画すること。